



# やぐもだい

令和5年5月31日  
調布市立八雲台小学校  
校長 上田 義孝  
<http://www.chofu-schools.jp/yagumodai-sho/>



## カタツムリとミツバチ

副校長 吉沢 洋

スポーツフェスティバルが今週の土曜日に開催されます。インフルエンザの流行、熱中症予防、雨の予報などなど、心配ばかりしていて後ろ向きな気持ちになっていました。しかし、子供たちは本番に向けて最後の努力をしています。スポーツフェスティバル当日は子供たちの頑張る姿に大きな声援をよろしくお願いします。

さて、6月は雨の多い季節、梅雨に入ります。梅雨といえぼどのような生き物を思い浮かべるでしょうか？カタツムリやカエルなど水が好きな生き物を思い浮かべた方が多いと思います。先日そのカタツムリについて素敵なお話を聞いたので、紹介します。

梅雨のある日、カタツムリがあじさいの葉っぱの上で独り言をつぶやいていました。「どうしてぼくはこんなにゆっくりなんだろう。他のみんなみたいに早く動けたらよかったのに。」カタツムリは歩みが遅く、隣のアジサイに行くまで丸一日かかってしまうのです。そんなところへ、一匹のミツバチが飛んできて、それを見たカタツムリは「ミツバチさんはいいな。素早く動けるし、空を飛んでどこにでも行けるんだもの。」と言いました。すると、ミツバチがこう答えました。「ぼくはいつだって大忙しさ。ぼくはカタツムリさんのようにゆったりとして、みんなが飛び回る様子を見たいよ。」

そんな風に言われたのは、カタツムリは初めてなので、「ぼくみたいに？」そんなものかなあと思いました。次にカタツムリは、「それに僕の背中のは、いつだって重くて嫌になっちゃうんだ。」言いました。すると、ミツバチは「君は君だけのお家を持っていて、とっとうらやましいよ。ぼくの家なんか、お兄さんやお姉さんがいっぱい。部屋の奥にも弟や妹がいっぱい眠っていて、ぼくがくつろげる場所なんてほんのちょっとしかないんだよ。」と答えました。カタツムリは、疲れたらいつでも休める殻が、自分だけの部屋だということに初めて気が付きました。そして、「ぼくって幸せ者？」と、ミツバチの言葉によって自分の良さに気付くことができました。それからは、カタツムリは、自信をもってゆっくり歩くことができるようになりました。

6月はふれあい月間です。このお話のように子供たちが友達の良さを互いに認め合い、伝え合える関係づくりに今後も努めていきます。そして、一人一人が自分の良いところに気が付くことができるように励ましていきます。

## ◎◎ようこそ 八雲台小学校へ よろしくお祈いします◎◎

はじめまして。4月からわかあゆ学級で図工を教えています。「楽しい図工」を目指して、授業に臨んでいます。子供たちが一生懸命取り組んで図工を楽しんでくれているのがとても嬉しいです。自分が描きたい世界、作りたいものを自由に表現する技を身に付け、表現の楽しさを味わってほしいと思います。どうぞよろしくお祈いします。

はじめまして。今年度より2年生の書写・漢字、3年生の書写・算数を担当することになりました。楽しく、わかりやすい授業を目指して日々努力していきます。どうぞよろしくお祈いします。

4月よりわかあゆ学級の音楽を担当しています。みなさんとお会いできることをとても楽しみにしていました。楽しくできることを増やし、ステップアップしていきましょう。どうぞよろしくお祈いします。